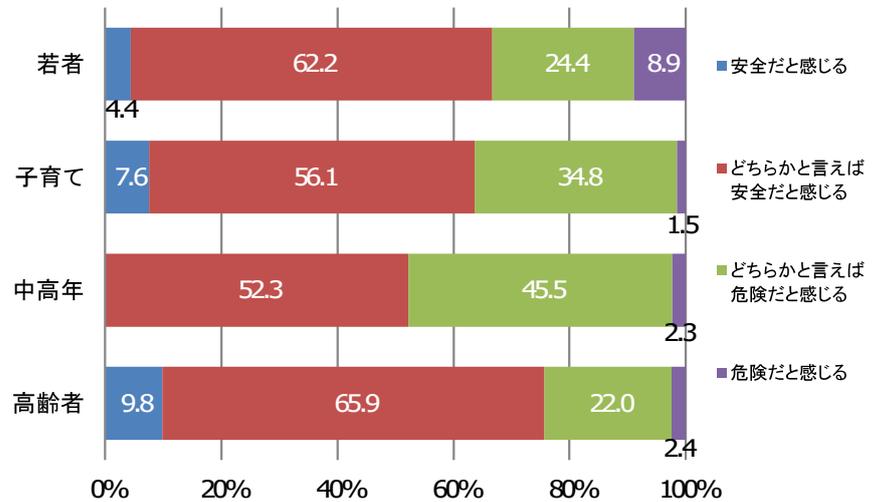
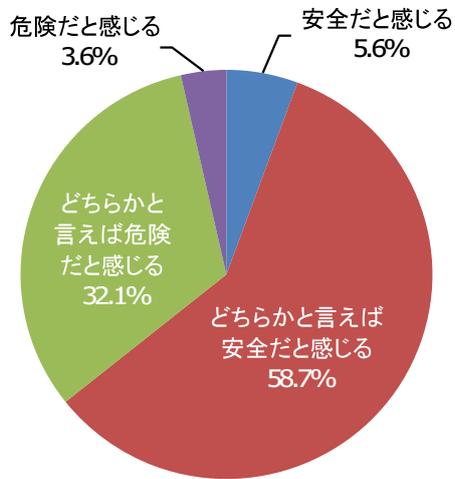


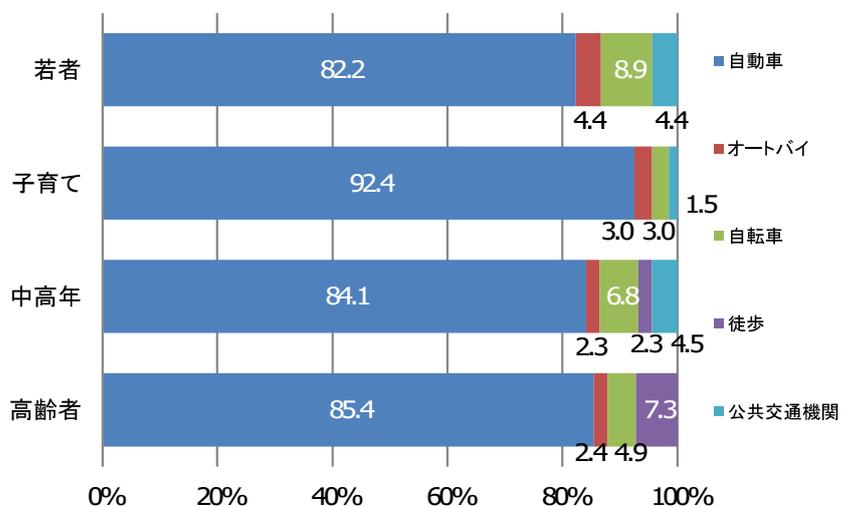
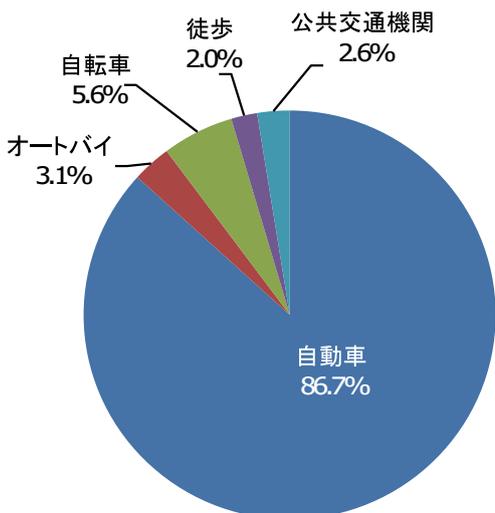
# <交通安全について>

## ■問1 浜松市域の交通環境の安全性について (N=196)



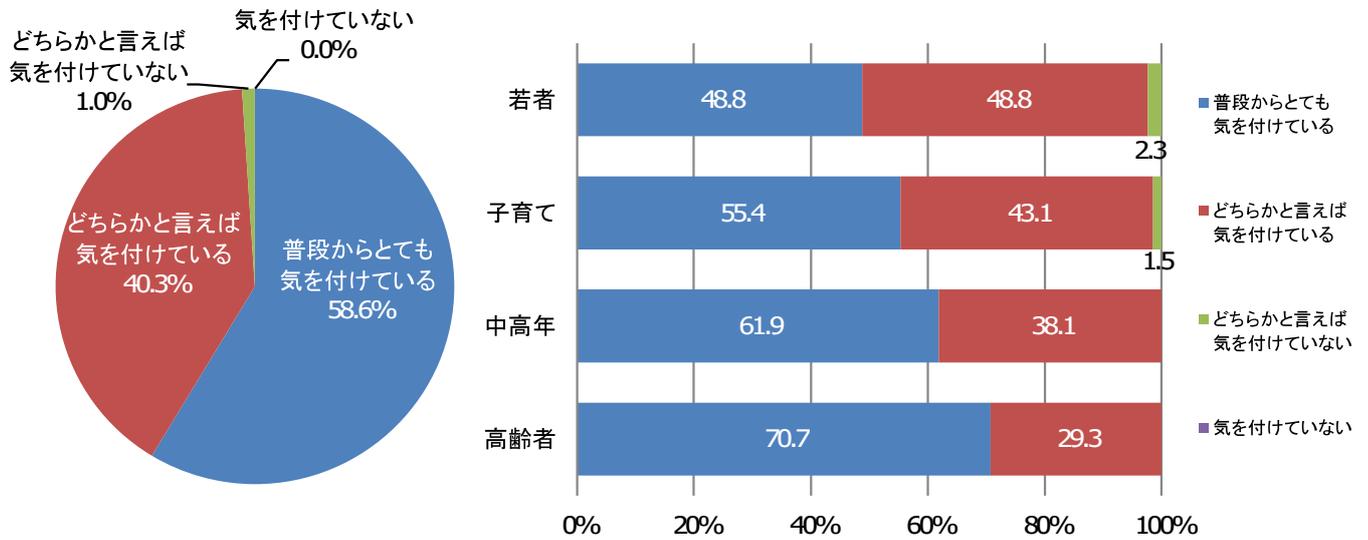
- 浜松市域の交通環境の安全性については、『安全』(「安全だと感じる」と「どちらかと言えば安全だと感じる」の合計)が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者では約7割が、子育てでは約6割が、中高年では約5割が、高齢者では約8割が『安全』と回答しています。

## ■問2 主な移動手段 (N=196)



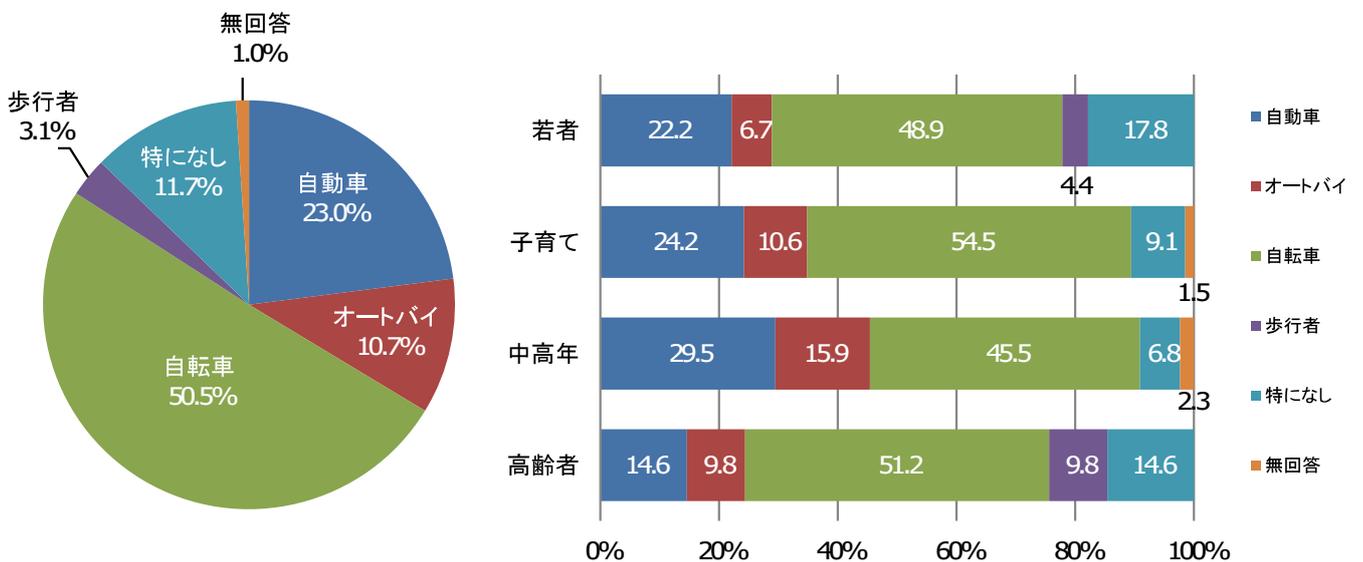
- 主な移動手段については、「自動車」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「自動車」が最も多い回答となっています。

■問3 主な移動手段での交通マナーへの意識 (N=191)  
 (問2で「1 自動車」「2 オートバイ」「3 自転車」「4 徒歩」と回答した方)



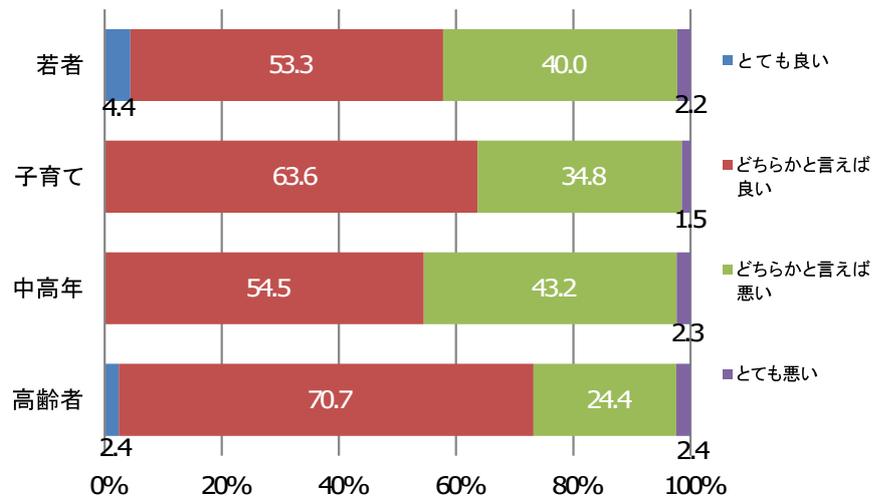
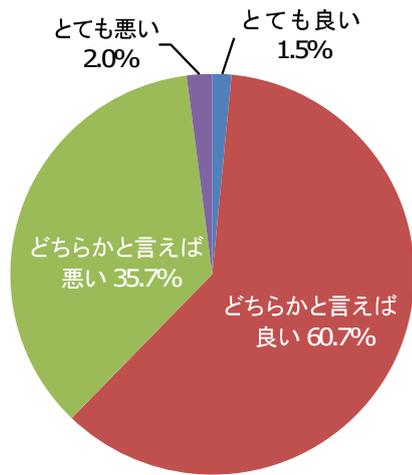
- 主な移動手段での交通マナーへの意識については、ほぼ全ての人が『気を付けている』(「普段からとても気を付けている」と「どちらかと言えば気を付けている」の合計)と回答しています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「普段からとても気を付けている」と回答する割合が高くなっています。

■問4 浜松市域において最もマナーが良くないと思う移動手段 (N=196)



- 浜松市域において最もマナーが良くないと思う移動手段については、「自転車」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「自転車」が最も多い回答となっています。

## 問5 自分以外の人の交通マナーについて (N=196)

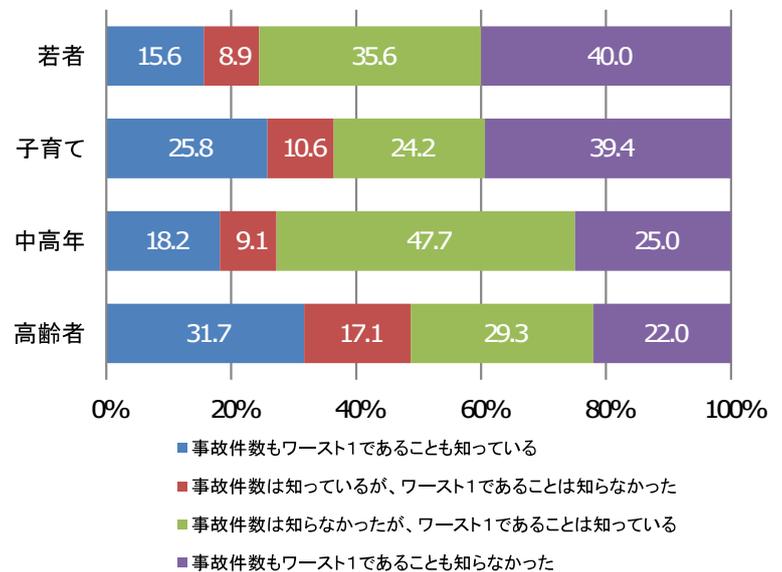
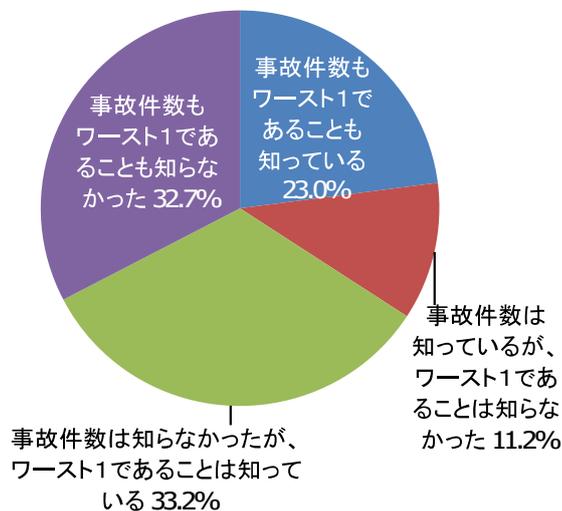


- 自分以外の人の交通マナーについては、『良い』(「とても良い」と「どちらかと言えば良い」の合計)が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは約6割が、中高年では約5割が、高齢者では約7割が『良い』と回答しています。

## 問6 「人口10万人当たりの人身交通事故※1発生件数※2」が全政令指定都市中ワースト1であることの認知度 (N=196)

※1 人身交通事故: 交通事故によって、被害者が傷害を負った場合や死亡した場合の事故のこと

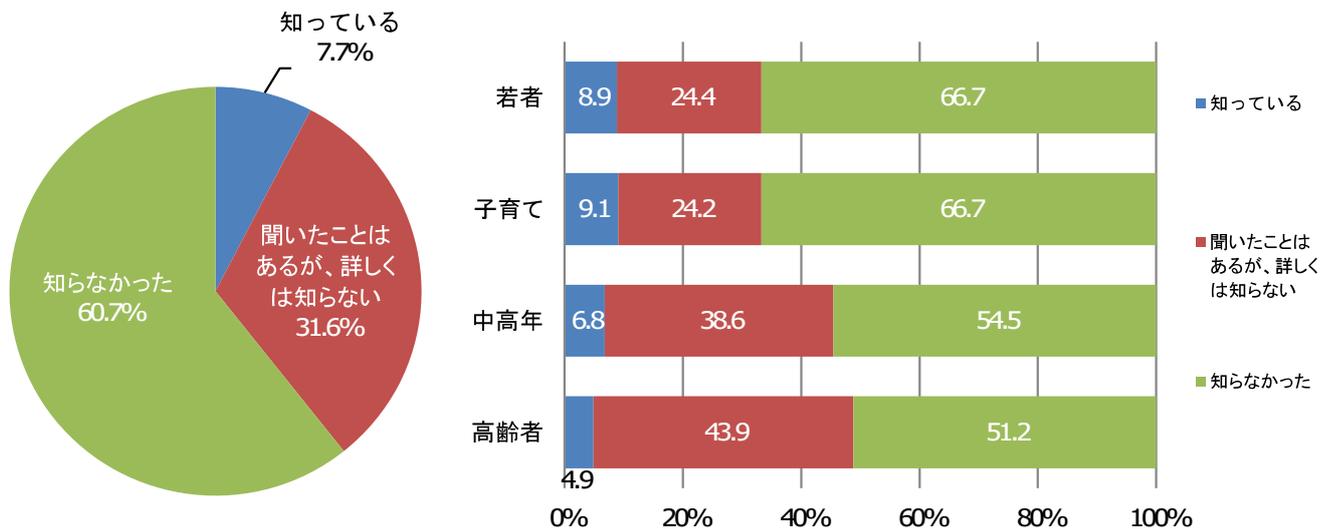
※2 市内では人身交通事故が、年間6,582件(令和元年)発生しています



- 「人口10万人当たりの人身交通事故発生件数」が全政令指定都市中ワースト1であることの認知度については、「事故件数は知らなかったが、ワースト1であることは知っている」が最も多く、次いで「事故件数もワースト1であることも知らなかった」も約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「事故件数もワースト1であることも知らなかった」、中高年では「事故件数は知らなかったが、ワースト1であることは知っている」、高齢者では「事故件数もワースト1であることも知っている」が最も多い回答となっています。

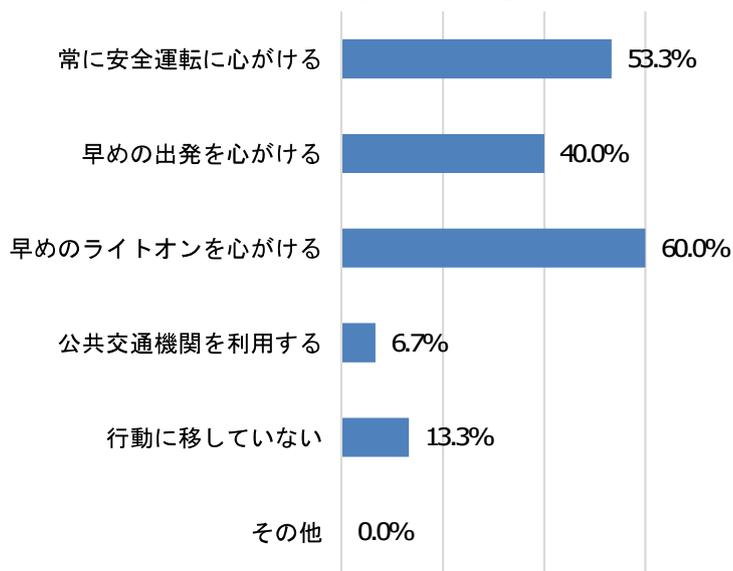
## 問7 「浜松市交通事故ワースト1脱出作戦※」の認知度 (N=196)

※ 浜松市交通事故ワースト1脱出作戦：浜松市交通事故防止対策会議（警察、交通安全協会、市等で構成）が、平成27年度から展開している人身交通事故の大幅削減を目指す取り組み。人口10万人当たりの人身交通事故の発生件数が、全国の政令指定都市の中で、浜松市が平成26年まで6年連続してワースト1であったことから、目標を定め、市民、警察、企業、市等オール浜松体制で、それぞれの立場や役割において、交通事故を防止するため、安全運転の実践や広報・啓発活動、ハード整備など具体的な取り組みを進めている。



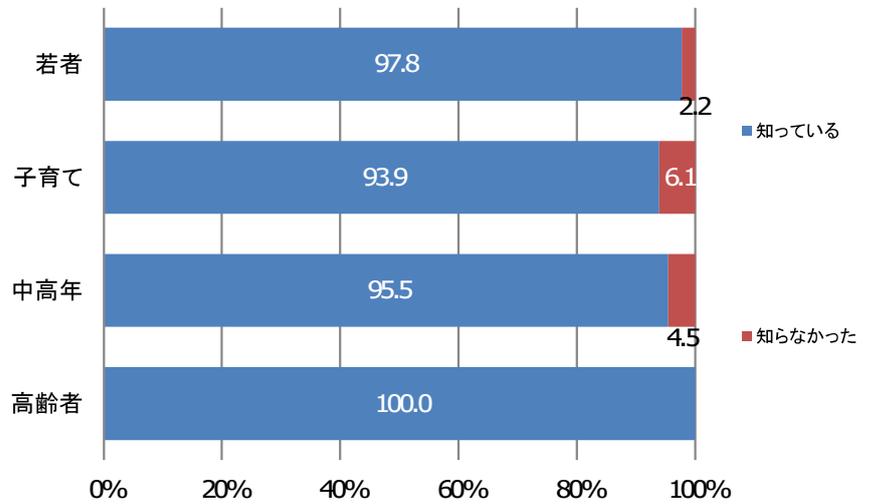
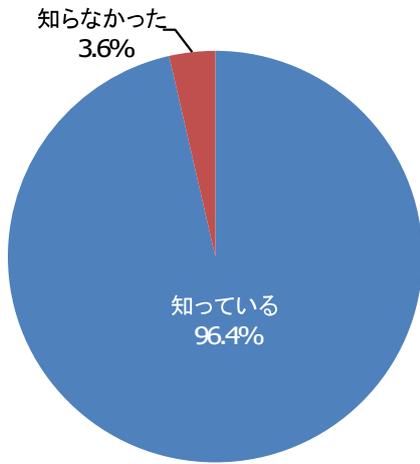
- 「浜松市交通事故ワースト1脱出作戦」の認知度については、『多少なりとも知っている』（「知っている」と「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」の合計）が約4割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『多少なりとも知っている』の回答割合が高くなる傾向にあります。

## 問8 ワースト1脱出作戦で取り組んでいる行動 (N=15 複数回答) (問7で「1 知っている」と回答した方)



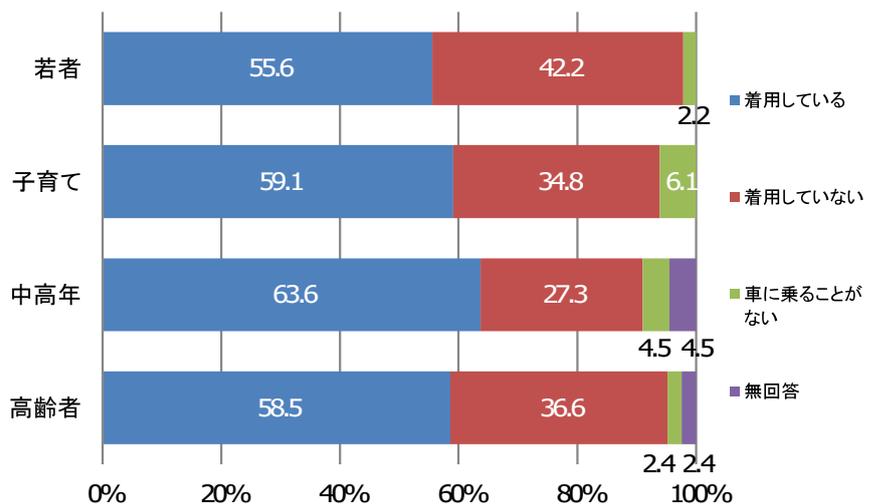
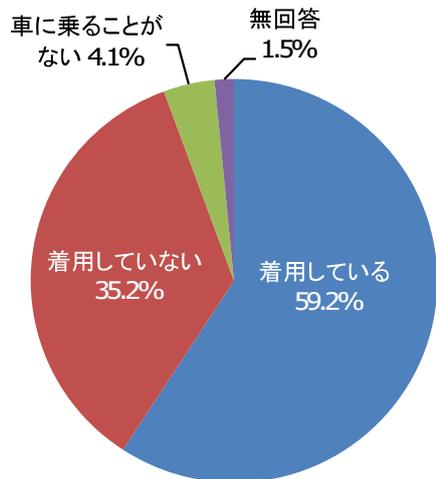
- ワースト1脱出作戦で取り組んでいる行動については、「早めのライトオンを心がける」が6割と最も多い回答となっています。

■問9 黄色信号では、安全に停止できない場合を除き、停止位置をこえて進行してはならないことの認知度 (N=196)



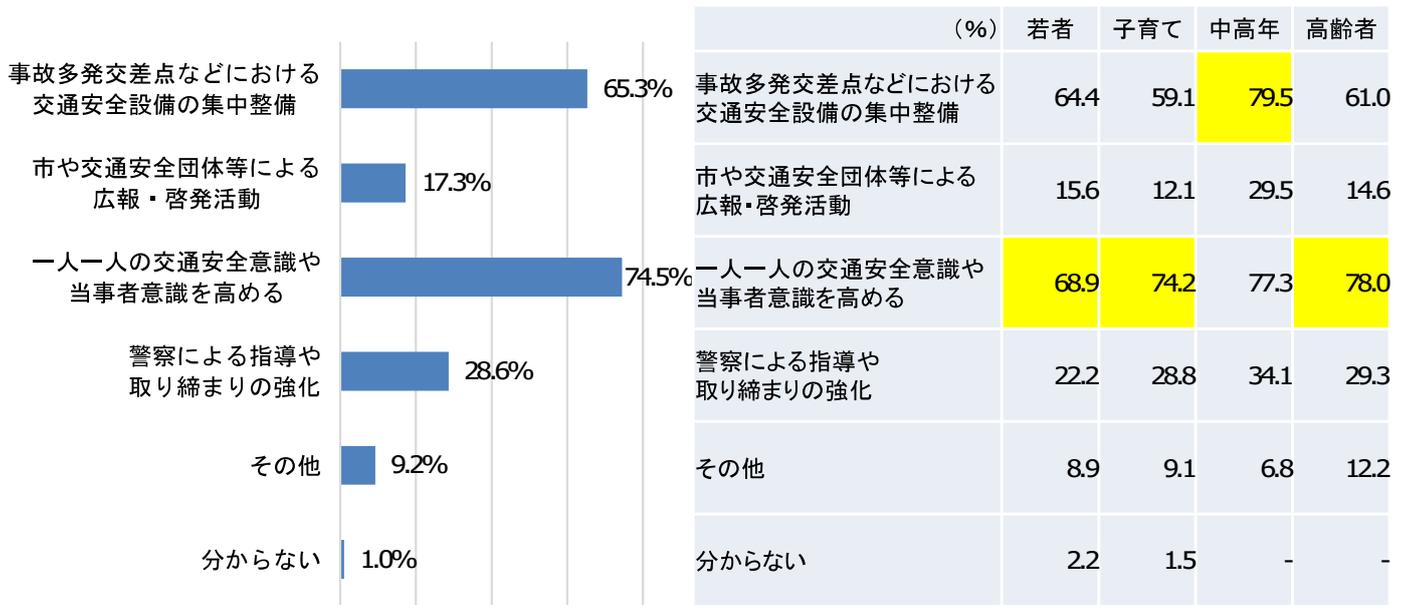
- 黄色信号では、安全に停止できない場合を除き、停止位置をこえて進行してはならないことの認知度については、9割以上が「知っている」と回答しています。
- 世代別にみても、全ての世代で「知っている」が9割を超えており、特に高齢者では全員が「知っている」と回答しています。

■問10 後部座席におけるシートベルトの着用 (N=196)



- 後部座席におけるシートベルトの着用については、「着用している」が約6割となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「着用している」が約6割となっています。

■問11 交通事故を防止するために必要だと思うこと (N=196 複数回答)



■その他意見

- ・歩行者保護、歩道の整備
- ・自転車用道路の整備
- ・自転車への指導
- ・高齢者運転への対応

- 交通事故を防止するために必要だと思うことについては、「一人一人の交通安全意識や当事者意識を高める」が約7割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「一人一人の交通安全意識や当事者意識を高める」、中高年では「事故多発交差点などにおける交通安全設備の集中整備」が最も多い回答となっています。